

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年8月14日
【四半期会計期間】	第183期第3四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）
【会社名】	日本坩堝株式会社
【英訳名】	Nippon Crucible Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西村 有司
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
【電話番号】	03(3443)5551(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 岡本 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、社内検査の過程で、当社子会社の日本ピーシーエス株式会社において仕掛品の金額を算出する計算に誤りがあり、仕掛品の計上金額が過大であり売上原価の計上金額が過小であったことが社内の確認により判明いたしました。このため、過年度の連結財務諸表及び四半期連結財務諸表に含まれる当該誤謬を訂正することといたしました。

これらの決算訂正により、2023年2月13日に提出いたしました第183期第3四半期（自2022年10月1日至2022年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第182期 第3四半期連結 累計期間	第183期 第3四半期連結 累計期間	第182期
会計期間	自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高 (千円)	6,476,709	6,405,529	8,675,032
経常利益 (千円)	249,924	226,674	314,615
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	162,730	128,119	212,302
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	256,858	165,130	310,563
純資産額 (千円)	5,128,279	5,282,959	5,186,106
総資産額 (千円)	11,095,121	10,779,414	11,077,212
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.20	19.05	31.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	46.2	49.0	46.8

回次	第182期 第3四半期連結 会計期間	第183期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2021年10月1日 至 2021年12月31日	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.62	9.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

(訂正後)

回次	第182期 第3四半期連結 累計期間	第183期 第3四半期連結 累計期間	第182期
会計期間	自 2021年4月1日 至 2021年12月31日	自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
売上高 (千円)	6,476,709	6,405,529	8,675,032
経常利益 (千円)	249,924	<u>206,561</u>	314,615
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	162,730	<u>108,005</u>	212,302
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	256,858	<u>145,016</u>	310,563
純資産額 (千円)	5,128,279	<u>5,262,845</u>	5,186,106
総資産額 (千円)	11,095,121	<u>10,759,300</u>	11,077,212
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	24.20	<u>16.06</u>	31.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	46.2	<u>48.9</u>	46.8

回次	第182期 第3四半期連結 会計期間	第183期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2021年10月1日 至 2021年12月31日	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.62	<u>9.93</u>

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

(省略)

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億5百万円と前年同四半期比1.1%減少いたしました。利益面でも、営業利益は1億7千8百万円（前年同四半期比12.5%減）、経常利益は2億2千6百万円（前年同四半期比9.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千8百万円（前年同四半期比21.3%減）と、それぞれ減少いたしました。

事業の分野別業績

鑄造事業は、主力製品の販売強化により、売上高32億2千8百万円（売上高比率50.4%）と前年同四半期比1.5%の微増となりました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当していた高炉の閉鎖の影響が大きく、売上高5億3千4百万円（売上高比率8.3%）と前年同四半期比23.2%減少いたしました。

工業炉事業は、各種溶解炉が増加し大型案件の完工もあって、売上高4億8千万円（売上高比率7.5%）と前年同四半期比10.2%増加いたしました。

環境・工事業業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高14億1千9百万円（売上高比率22.2%）とほぼ前年同四半期並みとなりました。

不動産事業は、本社テナントビルの在宅者増加による賃料低下を主因に、売上高2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、大型案件の進捗が寄与し、売上高4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加となりました。

セグメントの業績

耐火物事業の売上高は37億5千7百万円（売上高比率58.7%）と前年同四半期比1.3%減少しましたが、営業利益は2億4千9百万円と前年同四半期比19.5%増加いたしました。エンジニアリング事業の売上高は19億5百万円（売上高比率29.7%）と前年同四半期比1.2%減少しましたが、営業利益は2億2千7百万円と前年同四半期比9.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少し、営業利益も1億7千1百万円と前年同四半期比4.4%減少いたしました。その他事業の売上高は4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加しましたが、営業損失は2千4百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比4千万円（0.6%）減少し、65億3千4百万円となりました。主として、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2億5千7百万円（5.7%）減少し、42億4千4百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億9千7百万円（2.7%）減少し、107億7千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比8千6百万円（2.6%）減少し、32億9千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比3億7百万円（12.3%）減少し、22億円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比9千6百万円（1.9%）増加し、52億8千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は49.0%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

(省略)

このような状況のなか、当社グループは営業と技術が一体となり、主力製品や新製品の拡販活動を積極的に推進してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は64億5百万円と前年同四半期比1.1%減少いたしました。利益面でも、営業利益は1億5千8百万円（前年同四半期比22.4%減）、経常利益は2億6百万円（前年同四半期比17.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億8百万円（前年同四半期比33.6%減）と、それぞれ減少いたしました。

事業の分野別業績

鋳造事業は、主力製品の販売強化により、売上高32億2千8百万円（売上高比率50.4%）と前年同四半期比1.5%の微増となりました。

鉄鋼事業は、当社がメンテナンスを担当していた高炉の閉鎖の影響が大きく、売上高5億3千4百万円（売上高比率8.3%）と前年同四半期比23.2%減少いたしました。

工業炉事業は、各種溶解炉が増加し大型案件の完工もあって、売上高4億8千万円（売上高比率7.5%）と前年同四半期比10.2%増加いたしました。

環境・工事業業は、民間焼却設備を中心に安定した受注を確保し、売上高14億1千9百万円（売上高比率22.2%）とほぼ前年同四半期並みとなりました。

不動産事業は、本社テナントビルの在宅者増加による賃料低下を主因に、売上高2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少いたしました。

塗料循環装置事業は、大型案件の進捗が寄与し、売上高4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加となりました。

セグメントの業績

耐火物事業の売上高は37億5千7百万円（売上高比率58.7%）と前年同四半期比1.3%減少しましたが、営業利益は2億4千9百万円と前年同四半期比19.5%増加いたしました。エンジニアリング事業の売上高は19億5百万円（売上高比率29.7%）と前年同四半期比1.2%減少しましたが、営業利益は2億2千7百万円と前年同四半期比9.0%増加いたしました。不動産事業の売上高は2億8千6百万円（売上高比率4.5%）と前年同四半期比3.4%減少し、営業利益も1億7千1百万円と前年同四半期比4.4%減少いたしました。その他事業の売上高は4億5千5百万円（売上高比率7.1%）と前年同四半期比2.3%増加しましたが、営業損失は4千4百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末比6千万円（0.9%）減少し、65億1千4百万円となりました。主として、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末比2億5千7百万円（5.7%）減少し、42億4千4百万円となりました。主として、製造設備の減価償却によるものです。

これにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億1千7百万円（2.9%）減少し、107億5千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末比8千6百万円（2.6%）減少し、32億9千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末比3億7百万円（12.3%）減少し、22億円となりました。主として、長期借入金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比7千6百万円（1.5%）増加し、52億6千2百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.9%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,809	1,778,637
受取手形、売掛金及び契約資産	2,390,369	2,742,711
電子記録債権	310,205	318,814
商品及び製品	459,788	568,955
仕掛品	215,727	226,291
未成工事支出金	3,918	10,464
原材料及び貯蔵品	695,894	764,503
未収入金	28,742	27,068
その他	69,010	97,346
貸倒引当金	10	121
流動資産合計	6,575,454	6,534,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,491,777	1,427,697
機械装置及び運搬具（純額）	435,926	378,458
工具、器具及び備品（純額）	73,262	58,777
土地	119,851	119,851
リース資産（純額）	222,710	177,581
有形固定資産合計	2,343,529	2,162,366
無形固定資産		
のれん	260,794	228,434
その他	54,885	39,487
無形固定資産合計	315,679	267,921
投資その他の資産		
投資有価証券	841,920	794,749
関係会社出資金	591,397	637,851
繰延税金資産	294,820	289,671
保険積立金	50,345	32,453
その他	64,064	60,069
貸倒引当金	-	339
投資その他の資産合計	1,842,548	1,814,455
固定資産合計	4,501,757	4,244,743
資産合計	11,077,212	10,779,414

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,540	577,271
電子記録債務	646,248	663,983
短期借入金	1,311,154	1,411,600
リース債務	60,637	50,308
未払法人税等	79,007	23,345
賞与引当金	158,293	84,104
役員賞与引当金	39,428	29,808
その他	390,018	455,252
流動負債合計	3,382,328	3,295,673
固定負債		
長期借入金	1,123,900	822,700
リース債務	184,729	174,608
役員退職慰労引当金	117,941	124,783
退職給付に係る負債	791,293	785,836
役員株式給付引当金	7,999	11,902
資産除去債務	104,375	104,375
その他	178,537	176,574
固定負債合計	2,508,776	2,200,781
負債合計	5,891,105	5,496,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	85,474	85,474
利益剰余金	4,140,352	4,200,194
自己株式	109,343	109,343
株主資本合計	4,821,002	4,880,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	326,924	296,761
為替換算調整勘定	38,179	105,353
その他の包括利益累計額合計	365,104	402,114
純資産合計	5,186,106	5,282,959
負債純資産合計	11,077,212	10,779,414

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,809	1,778,637
受取手形、売掛金及び契約資産	2,390,369	2,742,711
電子記録債権	310,205	318,814
商品及び製品	459,788	568,955
仕掛品	215,727	206,177
未成工事支出金	3,918	10,464
原材料及び貯蔵品	695,894	764,503
未収入金	28,742	27,068
その他	69,010	97,346
貸倒引当金	10	121
流動資産合計	6,575,454	6,514,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,491,777	1,427,697
機械装置及び運搬具（純額）	435,926	378,458
工具、器具及び備品（純額）	73,262	58,777
土地	119,851	119,851
リース資産（純額）	222,710	177,581
有形固定資産合計	2,343,529	2,162,366
無形固定資産		
のれん	260,794	228,434
その他	54,885	39,487
無形固定資産合計	315,679	267,921
投資その他の資産		
投資有価証券	841,920	794,749
関係会社出資金	591,397	637,851
繰延税金資産	294,820	289,671
保険積立金	50,345	32,453
その他	64,064	60,069
貸倒引当金	-	339
投資その他の資産合計	1,842,548	1,814,455
固定資産合計	4,501,757	4,244,743
資産合計	11,077,212	10,759,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697,540	577,271
電子記録債務	646,248	663,983
短期借入金	1,311,154	1,411,600
リース債務	60,637	50,308
未払法人税等	79,007	23,345
賞与引当金	158,293	84,104
役員賞与引当金	39,428	29,808
その他	390,018	455,252
流動負債合計	3,382,328	3,295,673
固定負債		
長期借入金	1,123,900	822,700
リース債務	184,729	174,608
役員退職慰労引当金	117,941	124,783
退職給付に係る負債	791,293	785,836
役員株式給付引当金	7,999	11,902
資産除去債務	104,375	104,375
その他	178,537	176,574
固定負債合計	2,508,776	2,200,781
負債合計	5,891,105	5,496,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,520	704,520
資本剰余金	85,474	85,474
利益剰余金	4,140,352	4,180,080
自己株式	109,343	109,343
株主資本合計	4,821,002	4,860,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	326,924	296,761
為替換算調整勘定	38,179	105,353
その他の包括利益累計額合計	365,104	402,114
純資産合計	5,186,106	5,262,845
負債純資産合計	11,077,212	10,759,300

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年12月31日)
売上高	6,476,709	6,405,529
売上原価	4,621,002	4,547,949
売上総利益	1,855,707	1,857,579
販売費及び一般管理費	1,651,647	1,679,123
営業利益	204,060	178,456
営業外収益		
受取利息	67	24
受取配当金	21,678	30,218
受取家賃	20,233	21,390
持分法による投資利益	1,800	-
雇用調整助成金	11,982	12,646
為替差益	-	2,316
その他	14,106	21,387
営業外収益合計	69,868	87,983
営業外費用		
支払利息	22,449	18,350
持分法による投資損失	-	20,719
為替差損	760	-
手形売却損	101	-
その他	693	695
営業外費用合計	24,004	39,765
経常利益	249,924	226,674
特別利益		
投資有価証券売却益	18,920	1,165
固定資産売却益	-	90
その他	-	80
特別利益合計	18,920	1,336
特別損失		
固定資産除却損	961	2,128
投資有価証券売却損	460	-
ゴルフ会員権売却損	-	60
特別損失合計	1,422	2,188
税金等調整前四半期純利益	267,422	225,822
法人税、住民税及び事業税	80,984	79,219
法人税等調整額	23,707	18,483
法人税等合計	104,692	97,703
四半期純利益	162,730	128,119
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,730	128,119

(訂正後)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,476,709	6,405,529
売上原価	4,621,002	4,568,063
売上総利益	1,855,707	1,837,465
販売費及び一般管理費	1,651,647	1,679,123
営業利益	204,060	158,342
営業外収益		
受取利息	67	24
受取配当金	21,678	30,218
受取家賃	20,233	21,390
持分法による投資利益	1,800	-
雇用調整助成金	11,982	12,646
為替差益	-	2,316
その他	14,106	21,387
営業外収益合計	69,868	87,983
営業外費用		
支払利息	22,449	18,350
持分法による投資損失	-	20,719
為替差損	760	-
手形売却損	101	-
その他	693	695
営業外費用合計	24,004	39,765
経常利益	249,924	206,561
特別利益		
投資有価証券売却益	18,920	1,165
固定資産売却益	-	90
その他	-	80
特別利益合計	18,920	1,336
特別損失		
固定資産除却損	961	2,128
投資有価証券売却損	460	-
ゴルフ会員権売却損	-	60
特別損失合計	1,422	2,188
税金等調整前四半期純利益	267,422	205,709
法人税、住民税及び事業税	80,984	79,219
法人税等調整額	23,707	18,483
法人税等合計	104,692	97,703
四半期純利益	162,730	108,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,730	108,005

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	162,730	128,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,680	30,162
持分法適用会社に対する持分相当額	27,448	67,173
その他の包括利益合計	94,128	37,010
四半期包括利益	256,858	165,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,858	165,130

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	162,730	108,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,680	30,162
持分法適用会社に対する持分相当額	27,448	67,173
その他の包括利益合計	94,128	37,010
四半期包括利益	256,858	145,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,858	145,016

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,806,657	1,927,778	296,944	6,031,380	445,329	6,476,709	-	6,476,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,504	-	-	73,504	-	73,504	73,504	-
計	3,880,162	1,927,778	296,944	6,104,885	445,329	6,550,214	73,504	6,476,709
セグメント利益	208,359	208,868	179,027	596,254	3,774	600,029	395,969	204,060

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額 395,969千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,757,985	1,905,145	286,717	5,949,847	455,681	6,405,529	-	6,405,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,778	-	-	74,778	-	74,778	74,778	-
計	3,832,763	1,905,145	286,717	6,024,626	455,681	6,480,307	74,778	6,405,529
セグメント利益又は損失()	249,090	227,662	171,095	647,847	24,780	623,066	444,610	178,456

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2.セグメント利益又は損失()の調整額 444,610千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,806,657	1,927,778	296,944	6,031,380	445,329	6,476,709	-	6,476,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,504	-	-	73,504	-	73,504	73,504	-
計	3,880,162	1,927,778	296,944	6,104,885	445,329	6,550,214	73,504	6,476,709
セグメント利益	208,359	208,868	179,027	596,254	3,774	600,029	395,969	204,060

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額 395,969千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	耐火物	エンジニアリング	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,757,985	1,905,145	286,717	5,949,847	455,681	6,405,529	-	6,405,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	74,778	-	-	74,778	-	74,778	74,778	-
計	3,832,763	1,905,145	286,717	6,024,626	455,681	6,480,307	74,778	6,405,529
セグメント利益又は損失()	249,090	227,662	171,095	647,847	44,894	602,952	444,610	158,342

(注)1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料循環装置事業を含んでおります。

2.セグメント利益又は損失()の調整額 444,610千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門の人件費及び経費であります。

3.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

(訂正前)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	24円20銭	19円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	162,730	128,119
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額 (千円)	162,730	128,119
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,725	6,725

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 「役員株式給付信託 (B B T) 」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託 E 口) が保有している当社株式を、1 株当たり四半期純利益金額の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において、控除する自己株式に含めております (前第 3 四半期連結累計期間102,000株、当第 3 四半期連結累計期間102,000株) 。

3 当社は、2021年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

(訂正後)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	24円20銭	16円06銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	162,730	108,005
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額 (千円)	162,730	108,005
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,725	6,725

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 「役員株式給付信託 (B B T) 」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託 E 口) が保有している当社株式を、1 株当たり四半期純利益金額の算定上、普通株式の期中平均株式数の計算において、控除する自己株式に含めております (前第 3 四半期連結累計期間102,000株、当第 3 四半期連結累計期間102,000株) 。

3 当社は、2021年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。